

製品名: グルタミン酸受容体 1 (AMPA サブタイプ) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86817

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:102 kDa; Observed MW:102 kDa

抗原情報

遺伝子名	Glutamate Receptor 1 (AMPA subtype)
別名	GLUH1; GLUR1; GLURA; GluA1; HBGR1
遺伝子 ID	2890
SwissProt ID	P42261
免疫原	ヒトグルタミン酸受容体 1 (AMPA サブタイプ) の合成ペプチド

背景

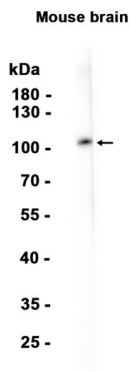
グルタミン酸受容体は、哺乳類の脳において主要な興奮性神経伝達物質受容体であり、様々な正常な神経生理学的プロセスにおいて

活性化されます。これらの受容体は、複数のサブユニットからなるヘテロ多量体タンパク質複合体であり、それぞれが膜貫通領域を有し、リガンド依存性イオンチャネルを形成するように配置されています。グルタミン酸受容体の分類は、異なる薬理学的アゴニストによる活性化に基づいて行われます。この遺伝子は、 α -アミノ-3-ヒドロキシ-5-メチル-4-イソキサゾールプロピオン酸 (AMPA) 受容体ファミリーに属します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



グルタミン酸受容体 1 (AMPA サブタイプ) ウサギモノクローナル抗体を 1:2000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。